

大会名称: **第25回東北大学バスケットボールリーグ
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会**

開催場所: 青森中央学院大学第2体育館	1次リーグ女子
試合区分: No. 0831B1	
期 日: 2024/8/31(土)	主審: 加藤 始
開始時間: 10:00	副審: 高田 綾奈
	副審: 工藤 美香

東北学院 一部1位	○ 77	● 48	富士 一部4位
---------------------	----------------	----------------	-------------------

東北学院大学

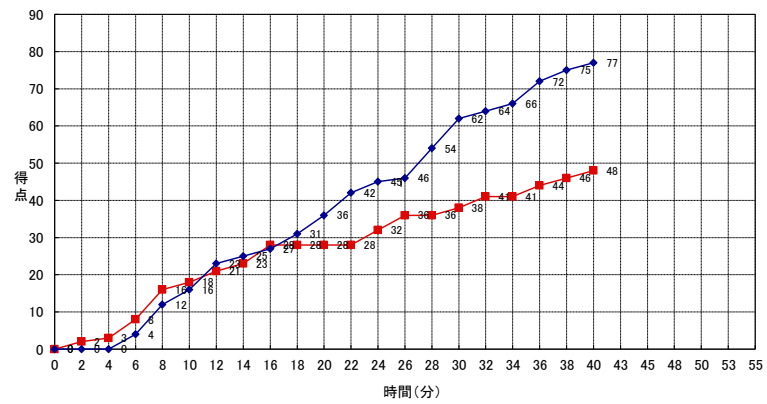
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
2	*	加藤 瑞紀	8	1	3	2	5	1	2	1	1	1	2	2
1		相原 祐海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3		佐藤 杏	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	*	斉藤 花帆	8	0	5	4	7	0	0	4	2	0	2	0
7	*	高橋 椋	8	1	2	2	5	1	2	0	0	3	3	4
8		武田 侑樹	2	0	0	1	3	0	0	1	2	1	3	2
9	*	高橋 ゆら	4	0	1	2	2	0	1	4	0	2	2	0
10	*	石田 侑真	22	0	0	9	18	4	5	2	2	6	8	5
11		原田 瑠憂奈	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
15		橋本 京花	7	1	1	2	5	0	0	0	1	0	1	1
23		工藤 未羽	5	1	4	0	5	2	4	0	3	1	4	0
25		鎌田 真凜	13	3	4	2	5	0	0	1	0	0	0	0
26		秋庭 愛花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
27		菅井 華	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32		白戸 彩希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM										0	0	0		
合 計			77	7	22	24	57	8	14	13	13	15	28	15
					31.8%		42.1%		57.1%					

富士大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
5	*	川村秋桜花	#REF!	13	1	5	5	9	0	0	0	2	2	1
1		細川音羽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3		齋藤梨緒	#REF!	2	0	0	1	2	0	2	0	0	0	1
4		杉村和夏	#REF!	7	1	1	1	2	2	4	1	2	3	0
10		佐々木心晴	#REF!	0	0	1	0	1	0	1	1	3	4	0
17		野呂心海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		長澤由優	#REF!	8	2	6	1	1	0	1	0	3	3	0
23	*	杉山夢子	#REF!	3	1	5	0	6	0	2	4	6	10	1
24		西沢鼓	#REF!	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
25	*	畑中悠奈	#REF!	2	0	0	1	2	0	0	0	4	4	0
26	*	阿部彩華	#REF!	7	1	1	2	4	0	2	1	1	2	1
30	*	齋藤亜海	#REF!	6	1	2	1	4	1	1	1	6	7	3
31		菅原莉衣架	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37		中村南美	#REF!	0	0	1	0	2	0	0	5	5	10	0
77		奥山せり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM										0	0	0		
合 計			48	7	23	12	34	3	8	13	13	32	45	7
					30.4%		35.3%		37.5%					

PTS: ポイント
M: 成功
A: 試投
%: シュート率
FG: フィールドゴール
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FT: フリースロー
F: ファール
OR: オフenseリバウンド
DR: デフェenseリバウンド
TOT: トータルリバウンド
AS: アシスト
S: スターター
OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

○第一クォーター

第1ピリオドの最初の得点は富士大学が取る。それに対して東北学院大学は序盤シュートが決まらない場面が多かった。しかし、東北学院大学の#25が3ポイントを連続で鎮め、チームに勢いをもたらした。その後富士大学はゾーンを仕掛けるも、東北学院大学はしっかりと決め返し、18-16の富士大学の2点リードで第1ピリオドを終えた。

○第二クォーター

第2ピリオドは、東北学院大学が点を決めても、富士大学が決め返す展開となった。東北学院大学は、#10のドライブからのアシストによる得点が多く、それに対して富士大学は#10の3ポイントや、それぞれのドライブからの得点で決め返す。東北学院大学は終盤富士大学のミスを読み、点差を6点差まで広げ残り1分半で富士大学がタイムアウト。お互い固い守りの中残り10秒で東北学院大学がゴール下のシュートを沈め、28-36の東北学院大学が逆転し、東北学院大学8点リードで前半を終えた。

○第三クォーター

第3ピリオドは、序盤8点を東北学院大学が先制し、大きく点差を広げるが、富士大学も粘り強くついていく。しかし、その勢いは止まらず、残り3分で富士大学タイムアウト。東北学院大学がその点差を20点差まで広げ、最終的に38-62で東北学院大学が24点の大幅リードをとった。

○第四クォーター

第4ピリオドも流れが変わることはなく、東北学院大学がジャンパーやゴール下で着実に得点を取る。富士大学も#4のジャンパーや#5の3ポイントで対抗する。お互い固い守りでそのまま進み、東北学院大学が大幅リードのまま試合を進め、77-48で東北学院大学が勝利した。

○総評

東北学院大学対富士大学の戦いは、前半は接戦となり、富士大学が粘りを見せていたが、後半東北学院大学が突き放す展開となり、77-48で東北学院大学が勝利した。